



国土を整え、全力で備える

国土交通省中国地方整備局  
岡山河川事務所

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Chugoku Regional Development Bureau

## お知らせ

記者発表資料  
配付日

令和3年4月23日

■同時発表先:岡山県政記者クラブ、岡山市政記者クラブ、倉敷市政記者クラブ

# 河川功労者表彰に波田氏(岡山理科大学名誉教授)、 河原氏(岡山大学名誉教授)の受賞が決定！

河川功労者表彰は、河川研究分野で多大な貢献をされた研究者や河川愛護活動等について功績があった団体等について、公益社団法人日本河川協会が毎年実施しているものです。

この度、岡山理科大学名誉教授 波田 善夫氏、岡山大学名誉教授 河原 長美氏が受賞することが決まりましたのでお知らせします。

なお、授賞式は6月1日に東京都千代田区(砂防会館別館)で開催される予定です。

～受賞者のご紹介～

○波田 善夫(はだ よしお):岡山理科大学名誉教授

環境・植物分野の専門家として、顕著な研究成果をあげられるとともに、吉井川・旭川・高梁川に関する各種検討会で委員を歴任された。特に河川整備計画策定、河川水辺の国勢調査、小田川付替え事業においては環境影響評価の委員など、河川整備の促進、河川環境の保全に貢献された。

○河原 長美(かわら おさみ):岡山大学名誉教授

水環境学の専門家として、顕著な研究成果をあげられるとともに、中国地方東部の河川に関する各種の検討会において指導され、吉井川・旭川・高梁川の河川水辺の国勢調査アドバイザーや小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会、芦田川の「芦田川水系河川整備計画」の策定等、河川の整備の推進・適切な管理、利用等に貢献された。

★詳細は公益社団法人日本河川協会HPをご覧ください

<http://www.japanriver.or.jp>

### 【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 岡山河川事務所 TEL:086-223-5187 (調査設計課直通)

副所長 松本 倫明 (内線205)

調査設計課長 井上 剛介 (内線 351)

令和3年4月23日  
公益社団法人 日本河川協会

## 令和3年河川功労者の決定及び表彰について

令和3年河川功労者が決定いたしました。  
河川功労者の表彰については、令和3年度日本河川協会定時社員総会において行います。  
なお、当日の取材にあたっては、報道者席を用意しております。

### < 表彰式 >

日 時 : 令和3年6月1日(火) 17時10分から  
(定時社員総会は、14時30分～)

場 所 : 砂防会館 シェーンバッハ・サポー

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、上記の内容が変更になる場合があります。変更する場合には改めてご連絡いたします。

### 記

1. 令和3年河川功労者表彰について ..... 資料-1
2. 令和3年河川功労者表彰者名簿 ..... 資料-2

#### 【問合せ先】

公益社団法人 日本河川協会  
〒102-0083  
東京都千代田区麴町2-6-5  
麴町E.C.Kビル 3F  
担当：萩原、小島  
電話：03-3238-9771  
FAX：03-3288-2426

\*過去の表彰者については、下記ホームページをご参照ください。  
[http://www.japanriver.or.jp/information/2019\\_kourousya-2.htm](http://www.japanriver.or.jp/information/2019_kourousya-2.htm)

## 令和3年河川功労者表彰について

1. 公益社団法人 日本河川協会では、昭和24年から河川に対する国民の理解を深めるため、当協会の河川功労者表彰規程に定める下記事項に該当する個人及び団体について、毎年、定時社員総会において河川功労者表彰を行っております。
2. 表彰者は、都道府県、国土交通省地方整備局等及び河川関係団体等からご推薦いただき、当協会の河川功労者表彰審査委員会で審査し、理事会において決定しています。
3. 令和3年の河川功労者は、資料－2のとおりです。  
表彰者の総数は、個人60、団体45、合計105の個人及び団体となっております。
4. これにより、令和3年までの表彰者は、4,142の個人及び団体となります。

### 記

- 第1号 歴史、文化活動又は芸術活動等により河川文化の発展に寄与し功績があった場合
- 第2号 河川の整備や管理に関連する諸活動を通じ、河川災害の防止、水資源の開発、河川環境の整備や保全、流域内の合意形成に貢献し功績があった場合
- 第3号 水防活動、水害時の人命救助、防災体制の整備・充実又は災害の早期発見と迅速な情報伝達等に功績があった場合
- 第4号 河川の自然保護・環境学習・河川愛護等の活動に功績があった場合
- 第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合
- 第6号 河川の利用を通じた産業の振興、地域の活性化等により新しい文化の創造に功績があった場合
- 第7号 河川や水の分野において国際的な活躍又は外国との交流・連携の深化に功績があった場合
- 第8号 本会の発展に顕著な貢献をする等、特に表彰が必要と認められた場合

名 称	功 績 等	住 所
うねの野老寿会	昭和46年の緑川ダム完成直後から自主清掃活動を実施し、緑川の一斉清掃にも参加されるなど、水源地域の環境保全及び河川愛護活動、地域活性化とダムの役割の啓発にも貢献された。	熊本県美里町
このえ九重町立 くいえん 淮園小学校	平成13年度から総合学習の中で、ホテルについて学び、飼育した幼虫を地域の町田川へ放流するとともに、学習内容を地域住民や「宝泉寺温泉はたる祭」の観光客に発表することで、河川愛護意識の高揚や河川環境の保全、地域活性化にも貢献された。	大分県九重町
やまつき山附溪谷ホテルの里	平成7年から山附川の水質改善や清掃、水質・生態調査に取り組み、ホテルの生息する環境を取り戻すとともに、ホテル祭りや稚魚放流など地域住民が河川に親しむ機会を創出して次代へ継承するなど、河川環境の保全、河川愛護活動に貢献された。	宮崎県高千穂町

### 第5号 河川や水に関する学術的研究又は技術開発に従事し、河川の整備・管理、利用等に役立つ成果をおさめる功績があった場合

(個人20)

氏 名	職 業	功 績 等	住 所
こいそ しゅうじ 小磯 修二	(公社)北海道観光振興機構会長	地域政策の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、釧路川流域委員会の委員長を5年間務め、釧路川水系釧路川河川整備計画の策定に寄与するなど、河川整備の推進及び河川環境の保全に貢献された。	北海道札幌市
すが わらき えつ 菅原 亀悦	岩手大学名誉教授	植物生態の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、東北地方ダム管理フォローアップ委員会委員、北上川上流河道内管理検討会委員及び胆沢ダム環境保全検討委員会委員長等を務め、河川・ダム整備の推進、河川環境の保全に貢献された。	宮城県仙台市
なり た こういち 成田 宏一	—	魚類の専門家として、平成13年度より阿賀川河川事務所の環境アドバイザーを務められ、阿賀川河川整備計画策定に当たり、特に河川環境保全等の方針決定に関して尽力、河川整備の推進、河川環境の保全に貢献された。	福島県会津若松市
なが ばやし ひさお 長林 久夫	日本大学名誉教授	水理・水工学の専門家として、顕著な研究成果をあげられるとともに、阿武隈川河川整備委員会委員長を務められ、阿武隈川水系河川整備計画の策定に尽力されるとともに、阿賀野川流域懇談会上流部会会長として、阿賀野川水系河川整備計画策定等にも尽力されるなど、各地方の河川整備の推進に貢献された。	福島県郡山市
かわ むらくに お 川村 國夫	金沢工業大学教授	地盤工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、利賀ダム建設事業監理委員会委員、北陸地方整備局事業評価監視委員会委員長等を務められるなど、河川・ダム事業の整備の推進に貢献された。	石川県金沢市
こにし じゅんいち 小西 純一	信州大学名誉教授	土木工学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、鷲流峡景観・環境検討会座長、松尾・下久堅地区治水事業協議会委員、鷲流峡治水対策事業工事監理委員会委員を務められ、天竜川上流域の景観保全や河川整備の推進に貢献された。	長野県長野市
の ひらてる お 野平 照雄	(一財)自然学総合研究所 客員 研究員	陸上昆虫、森林保全の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、設楽ダム環境検討委員会、木曾川上流自然再生検討会等の委員として、環境影響評価書のとりまとめ、自然再生計画の策定、環境配慮事項の検討等に関して指導・助言をするなど、ダム事業、河川整備の推進、河川環境の保全に貢献された。	岐阜県各務原市
たけだ あきまさ 武田 明正	三重大学名誉教授	森林保全生態学、造林学、森林植物学の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、櫛田川流域委員会、三重河川流域委員会の委員として河川整備計画の策定に寄与され、河川整備の推進、河川環境の保全に貢献された。	愛知県名古屋
きもと よしお 木本 凱夫	元三重大学助教授	農業水利、水資源の専門家として顕著な研究成果をあげられるとともに、国土審議会水資源開発分科会木曾川部会及び豊川部会の専門委員を務められ、櫛田川流域委員会、三重河川流域委員会の委員として、河川整備計画の策定に寄与され、河川の整備、河川環境の保全に貢献された。	三重県津市
たか み いさお 高見 勲	元・南山大学教授	河川の排水機場や水門等の河川機械設備の設計・維持管理の専門家として、顕著な研究成果をあげられるとともに、機械システムの機能確保のため信頼性工学の理論を導入、実践する活動を続け、河川機械設備の信頼性の確保・向上に寄与され、河川整備の推進に貢献された。	兵庫県神戸市
ふじ た いちろう 藤田 一郎	神戸大学名誉教授	河川工学の専門家として、兵庫県の河川における市川委員会、妙法寺川水系や由良川水系竹田川圏の河川整備計画検討委員会等の委員長を歴任し、河川整備計画の策定等に貢献されたほか、有馬川かわまちづくり実行委員会委員長を務められるなど、河川整備の推進、河川利用による地域の活性化に貢献された。	兵庫県神戸市
たきの しゅうじ 瀧野 秀二	近畿大学付属新宮高校・中学校 非常勤 講師	水生生物の専門家として、平成5年から河川水辺の国勢調査アドバイザーとして熊野川の河川環境に関し指導、また、地元学生の水生生物調査の指導に取り組むなど、河川環境教育、河川環境の保全に貢献された。	和歌山県新宮市
はだ よしお 波田 善夫	岡山理科大学名誉教授	環境・植物分野の専門家として、顕著な研究成果をあげられるとともに、吉井川・旭川・高梁川に関する各種検討会で委員を歴任された。特に河川整備計画策定、河川水辺の国勢調査、小田川付替え事業においては環境影響評価の委員など、河川整備の促進、河川環境の保全に貢献された。	岡山県赤磐市
かわら おさみ 河原 長美	岡山大学名誉教授	水環境学の専門家として、顕著な研究成果をあげられるとともに、中国地方東部の河川に関する各種の検討会において指導され、吉井川・旭川・高梁川の河川水辺の国勢調査アドバイザーや小田川合流点付替え事業環境影響評価フォローアップ委員会、芦田川の「芦田川水系河川整備計画」の策定等、河川の整備の推進・適切な管理、利用等に貢献された。	岡山県岡山市